

広報

活力あふれ
ひとが輝く
安らぎのまち

伊万里

平成28年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル (3月20日：国見台陸上競技場)

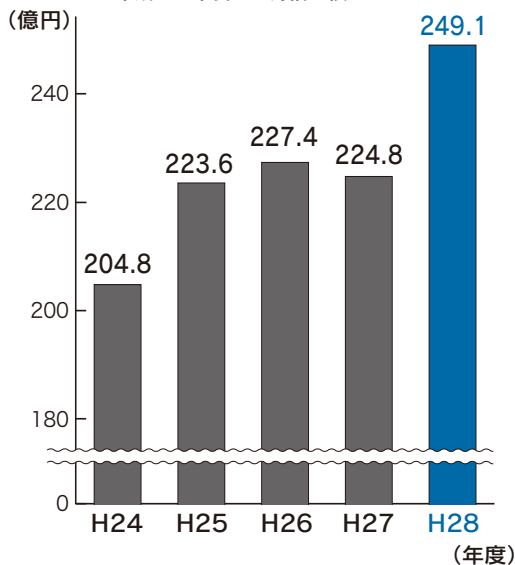
一般会計

平成28年度当初予算総額

249億1,400万円

一般会計予算額の年度別推移

※平成26年度は6月補正後



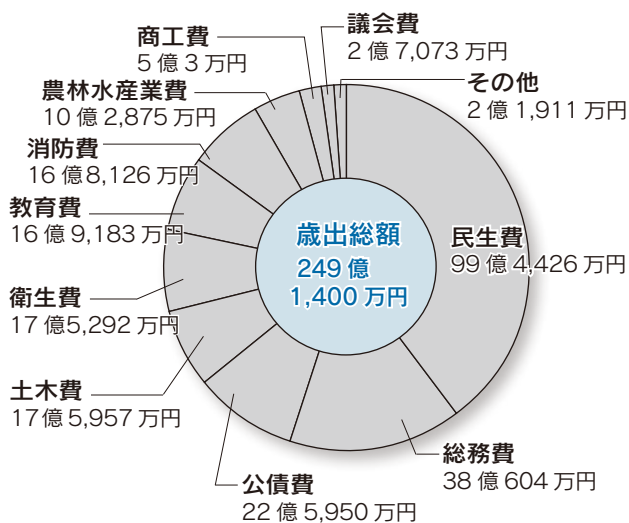
国の経済政策などにより、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、法人市民税の税率引き下げの影響などで、市の主要な財源である税収の伸びは不透明な状況です。さらに、今後、少子・高齢化の進展による扶助費などの社会保障関連経費や、公債費などの義務的経費の増加に加え、老朽化した公共施設の大規模な修繕などが必要となるなど、さらなる財政の硬直化が見込まれます。このため、既存事業の大幅な見直しと戦略的視点に立った特定事業への集中投資を行い、子育て支援、産業振興など、市の将来を見据えた予算を編成しました。

歳入においては、市税がここ数年の好調な企業実績などにより前年と比較して増収が見込めるものの、今回の重点的配分に要する財源が不足することから、ふるさと応援基金などの基金繰り入れにより財源の確保に努めました。

一方、歳出では、ケーブルテレビ基盤整備支援事業や子ども医療費助成事業、子育て世代包括支援センター事業、中山間地域農業集落活動支援事業、伊万里ブランド販売促進事業、伊万里津景観形成事業、防災行政無線施設整備事業、小中一貫校整備事業など、子育て支援策の充実や保健活動の推進、農林水産業および商業・観光の振興、学校教育の推進、防災の推進などのために、限られた財源を効果的に配分した予算を編成しました。

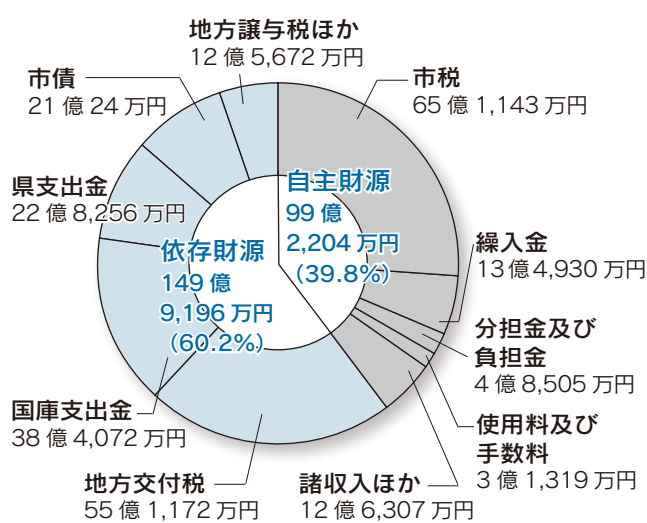
その結果、今年度の伊万里市一般会計予算は、総額で249億1,400万円となりました。平成27年度と比較すると、10.8%の増加となっています。

歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- 総務費………企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- 公債費………借入金の返済に要する経費です。
- 土木費………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- 衛生費………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- 教育費………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です。
- 農林水産業費…農林水産業の振興に要する経費です。
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です。
- 議会費………議会運営に要する経費です。
- その他………労働費や諸支金、災害復旧費などです。

歳入



- 市税………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です。
- 分担金及び負担金…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- 使用料及び手数料…施設の使用料、戸籍や住民票の謄抄本の手数料などです。
- 諸収入ほか………雑入などです。
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です。
- 県支出金………県からの負担金や補助金です。
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです。

表 1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	80 億 5,659 万円
介護保険	58 億 588 万円
立花台地開発事業	1,580 万円
公共下水道事業	21 億 2,748 万円
農業集落排水事業	1 億 3,619 万円
市営駐車場	1,297 万円
後期高齢者医療	14 億 2,022 万円
計	175 億 7,513 万円

表 2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	12 億 6,168 万円
	支出	12 億 6,168 万円
資本的収支	収入	7 億 2,389 万円
	支出	8 億 7,275 万円

表 3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	221 億 7,422 万円	
特別会計	公共下水道事業	114 億 9,141 万円
	農業集落排水事業	10 億 1,809 万円
計	346 億 8,372 万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	51 億 5,399 万円
	工業用水道事業	134 億 2,313 万円
計	185 億 7,712 万円	

※平成 28 年 3 月補正後の金額です。
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるので、特別会計を設けています。

平成 28 年度は、**表 1** のとおり 7 つの特別会計を設けており、その予算総額は、175 億 7513 万円となっています。

■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。



■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

■公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

■農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

■市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける 75 歳以上の高齢者と 65 歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の 2 つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、**表 2** のとおりです。

■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、**表 3** のとおりです。

個性豊かで力強く躍動する 伊万里市づくりに全力で挑戦

地域特性を最大限に生かし、伊万里市ならではの
地方創生を『深化』させていきます。

平成28年伊万里市議会第1回定例会で、塚部芳和市長が平成28年度の
市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介します。

平成28年 第1回定例会 所信表明

はじめに

私は、今日まで市民の皆さんと同じ目線に立った考え方で前例にとらわれない発想による市民本位の市政運営を政治信条として、『暮らしの安全と安心の確保』、『地域産業の振興』、『賑わいと活力の創造』の3つの柱のもと政策の推進に邁進してきました。

特に、平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故を教訓として取り組んできた玄海原子力発電所に関連する安全協定については、2月2日に、九州電力株式会社と事前説明などに関する安全協定を、佐賀県知事と事前了解の判断時における本市への配慮などに関する覚書を締結しました。また、待望の西九州自動車道

の市内区間の開通、伊万里港と神戸港を結び世界中への迅速なコンテナ輸送が可能となる国際フェリーターミナル航路の開設、県西部地区4市5町による『さが西部クリンセンター』の稼働など、重要プロジェクトのそれぞれが市政発展の礎として姿を現してきました。

今、地方創生の取り組みが全国一斉に開始され、地方の創意と工夫による主体的なまちづくりが求められています。私は、揺るぎない信念と先見性をもって、個性豊かで力強く躍動する伊万里市づくりに全力で挑戦を続けていきます。

市政を取り巻く情勢

今日の社会経済情勢は、2月にTPP（環太平洋パートナーシップ協定）への署名が

行われ、幅広い分野での新しい経済ルールの構築が期待されている一方で、6次産業化や農地集積などによる農業・農村の所得倍増の方向性が示されているものの、農林水産業へのさまざまな影響が想定されます。また、世界経済の回復を牽引してきた中国経済の減速などにより世界経済の不透明感が増し、我が国の経済への長期にわたる影響も懸念されています。

国においては、『希望を生み出す強い経済』、『夢をつむぐ子育て支援』、『安心につながる社会保障』という新たな三本の矢により一億総活躍社会づくりが開始されています。

地方においては、アベノミクスによる経済再生の取り組みにより経済の好循環に向けた動きは徐々に広がつつあるものの、人々が実感できるまでの効果は得られておらず、本市を取り巻く経済情勢は決

して予断を許さない状況です。

まちづくりの基本方針

このように混迷する社会経済情勢の中で、全国的なうねりとして高まりを見せる地方創生は、本格的な実行段階である第2ステージへと移行しています。

今後、本市が未来に向け大きく躍動し飛躍するためには、この地方創生を競争力強化の最大の好機と捉え、行政だけではなく、民間企業をはじめ、まちづくり団体や地域など、あらゆる分野の皆さんと一丸となつて、『まち』、『ひと』、『しごと』の好循環の確立に向けた各種施策を展開していかなくてはなりません。

私は、我が国の人口減少対策と活力維持という日本再生の鍵は、まさに地方の再生にあると確信しています。伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた4つの基本目標の実現に向け、地域特性を最大限に生かすとともに、TPPへの柔軟な対応も図りながら、伊万里湾地域の発展を先導するという気概を持って、伊万里市ならではの地方創生を『深化』させていく覚悟です。



第1回定例会で所信表明を行う塚部芳和市長

主要な施策

総合計画に定めた将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現をめざし、後期基本計画に位置づけた施策の展開を図るとともに、伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、重点的な事業の推進に努めます。

産業振興により『活気あふれるまち』をつくる

地方創生の根幹をなす『しごとづくり』へとつながる企業誘致については、これまでの製造業を中心とした企業誘致に加え、大学新卒者や女性などの就職先となるオフィス

系企業の立地に向け積極的な誘致活動を展開します。

福岡都市圏や市内で企業説明会を開催し情報提供を行い、優秀な人材の確保に結びつけるなど、地域の産業力の強化に努めます。また、1月に国の認定を受けた伊万里市創業支援事業計画のもと、商工会議所や金融機関と連携し相談員の配置や創業塾の開設などに取り組み、地域の特性や潜在能力を生かした創業支援に努めます。

農業については、給付金を創設し親元での就農を促進します。また、伊万里梨やブドウなどの樹園地の借り受けや改植を支援するなど、地域農業の担い手の確保と就農意欲

の向上に努めます。

地域資源を生かし『行きたいまち』をつくる

間近に迫った西九州自動車道の伊万里東インターチェンジ(仮称)までの延伸を見据え、福岡都市圏を中心に観光情報を発信します。外国人観光客の誘客に向け、クルーズ客船の伊万里港への誘致やツアー会社への積極的な働きかけを行うとともに、市内商店の消費税免税店への登録を支援します。また、伊万里駅周辺の案内看板の多言語化や外国人観光客向けの観光パンフレットの改訂に取り組みなど、年々増加する外国人観光客の動向やニーズを捉えた事業を展開します。

さらに、定住人口を増加させるため、政策経営部内に専門部署を設置し、大都市圏や近隣自治体等からの移住を促進するとともに、市外への転出抑制に取り組みます。

市民みんなで『子育てしやすいまち』をつくる

2・11と全国的に高い水準にある合計特殊出生率を維持し出生数の増加を図るため、出会いから結婚、妊娠、出産、

子育てまでの切れ目のない支援に努めます。

子どもの医療費助成については、子育て世代のニーズに応えるため、小中学生の通院費までに助成対象を拡大します。また、新たに子育て世代地域包括支援センターを設置し、専門的な知見と当事者目線の両方の視点から適切な保健サービスを提供するなど、妊娠初期の段階から子育て期に至るまでの一貫したワンストップ相談体制を構築します。

さらに、小学校低学年児童の健全な育成と、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、留守家庭児童クラブの円滑な運営に努めるとともに、対象学年の計画的な拡大について検討を進めます。

結婚活動を支援するため、結婚を希望する独身の男女の相談を受ける専門相談員の配置や、出会いの機会を創出するための各種イベントを実施するとともに、結婚への意識を高めるための講演会を開催するなど、より多くのカップルの成立や成婚へとつなげていきます。

時代に合った都市づくりで『安心で住みたいまち』をつくる

自然災害や原子力災害などが発生した場合に、災害情報の伝達手段となる防災行政無線の整備に着工するとともに、災害時の避難経路となる国・県道、市道の整備を促進します。

任意団体による有償運送の県内第一号として注目を集める波多津町まちづくり運営協議会によるコミュニティバスの運行を支援するとともに、他地区への拡大について検討を進めます。

全国から大きな反響を得ているふるさと納税については、さらなるPRに努めるとともに、企業版のふるさと納税制度の創設に対応し、寄付の対象事業を地域再生計画に位置づけ、企業に働きかけます。

さらに、西九州自動車道や国道204号、都市計画道路大坪木須線、臨港道路七ツ島線および県道伊万里有田線(セラムミックロード)などの整備を促進します。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。

安心して健やかな暮らしづくり

まちづくりの目標

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、緊急通報システム機器の設置をはじめ、高齢者の生きがいや支え合い活動に取り組む老人クラブ、高齢者の就労機会を創出するシルバー人材センターの活動を支援します。

障害のある人や家族などからの就業や生活に関する相談などに対し必要な情報を提供するなど、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。

多子世帯における4人目以降の児童生徒の給食費の助成をはじめ、児童手当や児童扶養手当の給付、ひとり親家庭等の医療費の助成を行うなど、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

予防接種法に基づき、麻疹・風しん、ヒブや高齢者および小児の肺炎球菌、水痘などの定期予防接種を適切に実施し、感染症の予防に努めます。

伊万里有田共立病院を運営するとともに、休日・夜間急患医療センターをはじめ、在宅当番医制や病院群輪番制の円滑な運営に努めます。



市老人クラブ連合会主催の第1回レディスグラウンド・ゴルフ大会

●緊急通報システム運用事業 76万円

在宅の一人暮らし高齢者が家庭内で急病などの緊急事態に陥ったときなどに、専用の機器で簡単に通報ができ、必要な対応が受けられる環境を整備します。

財源 市76万円 ▼長寿社会課

●老人団体支援事業 316万円

市老人クラブ連合会と各町単位老人クラブの活動などに要する経費の一部を補助します。

財源 県60万円 市256万円 ▼長寿社会課

●重度障害者（児）医療給付事業 1億1508万円

心身に重度の障害がある人に対し、医療費の一部を給付します。

財源 県5754万円 市5754万円 ▼福祉課

●障害者介護・訓練等給付事業 10億5947万円

障害者やその保護者が利用する障害福祉サービスの費用の一部を支給し、障害者の自立や社会参加を支援します。

財源 国5億2885万円 県2億6442万円 市2億6620万円 ▼福祉課



↑白い杖^{つえ}でまちを歩き、視覚障害に対する理解を深めました。

●身体障害者更生医療給付事業 8954万円

身体に障害がある人の障害部位の加療により、改善または機能維持が図られる場合（人工透析、心臓手術など）に医療費を給付します。

財源 国4467万円 県2234万円 市2253万円 ▼福祉課

●身体障害児育成医療給付事業 185万円

身体に障害がある18歳未満の児童に対し、原則として手術（内科的治療は除く）を受けるために必要な費用を給付します。

財源 国92万円 県46万円 市47万円 ▼福祉課

●生活困窮者自立支援事業 740万円

生活困窮者への相談窓口の設置や包括的相談支援を行うほか、住居確保給付金を支給します。

財源 国555万円 市185万円 ▼福祉課

●生活保護費支給事業

12億4272万円

生活困窮者が、最低限度の生活を送るために必要な費用を支給します。

財源 国9億3204万円 県2260万円 市2億8808万円

▼福祉課

●私立保育園整備促進事業【新】

3008万円

私立保育園の施設改修に要する費用の一部を助成します。

財源 県2589万円 市419万円

▼福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業

7874万円

就労などで昼間に保護者のいない家庭の小学校低学年の児童を預かる留守家庭児童クラブを管理・運営します。

財源 使用料2608万円 国1732万円 県1732万円 諸収入70万円 市1732万円

▼教育総務課

●多子世帯給食費助成事業

228万円

児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、小学生から18歳までに4人以上の子どもがいる世帯に対し、4人目以降の給食費の全額を助成します。

財源 市228万円 ▼学校教育課

●ひとり親家庭等医療費助成事業

3095万円

母子・父子家庭の父母とその養育する児童や、父母のいない児童に対し、医療費の一部を助成します。

財源 県1547万円 市1548万円

▼福祉課

●子どもの医療費助成事業

1億2883万円

小学校就学前の子どもが通院・入院、小・中学生が入院した際に加え、7月診療分から、小・中学生が通院した際に必要な費用（保険診療分）の自己負担額の一部を助成します。

財源 県4677万円 繰入金



↑元気にこいのぼりを掲揚する たんばぼ保育園の園児たち

●子育て支援センター管理運営事業

432万円

子育て相談業務や多様化する保育需要に応じた一時預かり、休日保育などをを行う子育て支援センターを管理・運営します。

財源 使用料16万円 国119万円 県119万円 市178万円

▼福祉課

●子育て世代包括支援センター事業【新】

430万円

妊娠・出産・子育て期（妊娠から就学前まで）の切れ目のない支援を行うため、健康づくり課内に子育て世代包括支援センターを設置し、母子健康手帳の交付や保健相談などを行います。

財源 国143万円 県143万円 市144万円

▼健康づくり課

●予防接種事業

1億5970万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種と高齢者のインフルエンザ予防接種などを実施します。また、妊婦の風しんへの感染を予防し、安心して出産できるように成人用風しんの予防接種を実施します。

財源 県16万円 市1億5954万円

▼健康づくり課

●妊婦乳児健康診査事業

4884万円

乳児が心身ともに健やかに育つよう、また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで安心して出産ができる体制を確保するため、乳児および妊婦の健康診査を実施します。

財源 市4884万円

▼健康づくり課

●健康増進事業

3408万円

市民の健康を保持するため、各種健（検）診や健康相談、訪問健康指導などを実施します。

財源 国12万円 県146万円 繰入金79万円 諸収入591万円 市2580万円

▼健康づくり課

●伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金

1億9108万円

伊万里・有田地区医療福祉組合が行う伊万里有田共立病院事業の運営に要する経費を負担します。

財源 市1億9108万円

▼健康づくり課

●休日・夜間急患医療センター管理運営事業

1566万円

日曜・祝日の休日診療や、平日の夜間における小児診療を行う休日・夜間急患医療センターを管理・運営します。

財源 市1566万円

▼健康づくり課

創造的で心豊かなひとづくり

将来の伊万里市を担う人材を育成するため、伊万里の歴史や伝統を学び郷土愛を育てる子ども伊万里塾を開設します。また、地域貢献を志し地域づくり活動の企画・立案や実践に取り組む若者を伊万里未来プランナーとして養成します。

小中一貫校南波多校において、小学校敷地内に中学校校舎を建設するための実施設計を行います。また、平成29年4月の波多津小学校と波多津東小学校の統合に向けた準備を進めるほか、牧島小学校、黒川小学校および大川小学校の屋内運動場の改修に取り組みます。

伊万里ハーフマラソン大会を開催するとともに、より多くのチームが利用できるようスポーツ合宿の支援制度を充実させます。スポーツツーリズムの観点から、これらの機会をとらえ、本市の観光PRや交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

友好交流都市である中国大連市からの公務研修生を受け入れるほか、平成27年度から始まった大連市からの修学旅行生の受け入れや、大連市アカシア祭りウォーキング大会への中学生の派遣など、国際感覚を身に付けた青少年の育成を図ります。



全国から多くの人が参加した伊万里ハーフマラソン大会

●子ども伊万里塾事業【新】 60万円

子どもたちの郷土への愛着と誇りを育成するため、学校・家庭・地域が連携して、休日や長期休業期間中の子どもたちに伊万里の歴史や文化、産業などについて学ぶ機会を提供するとともに、子どもボランティアガイドを育成します。

財源 繰入金60万円 ▼生涯学習課

●伊万里未来プランナー養成事業【新】 29万円

地域貢献を志す若者の企画立案と実践をサポートし、人・情報・地域をつなぐ人材を養成するため、企画会議、ファシリテーター養成研修を開催するとともに、地域イベントなどへの協力などを行います。

財源 繰入金20万円 市9万円 ▼生涯学習課

●ブックスタート事業 65万円

生後3か月を迎えた乳児とその保護者に対し、3か月児健診時に絵本を配布し、ボランティア団体と協働して読み語りをを行います。

財源 繰入金65万円 ▼市民図書館

●家読推進事業 56万円

家読推進講演会を開催し、家読を理

解する場を提供するとともに、「図書館を使った調べる学習」地域コンクールを開催します。

財源 繰入金20万円 諸収入36万円 ▼市民図書館

●図書館管理運営事業（移動図書館車購入）【新】 1400万円

平成5年に購入し、経年劣化した移動図書館車2号車を更新します。

財源 繰入金1400万円 ▼市民図書館

●小中一貫校整備事業【新】 1675万円

小中一貫校南波多校の校舎の改築などを行います。

財源 起債1250万円 市425万円 ▼教育総務課

●小学校統合事業【新】 2300万円

波多津小学校、波多津東小学校の平成29年4月の統合に向け、校歌の作曲や義務教材の移送などを行うとともに、必要な備品を購入します。

財源 市2300万円 ▼教育総務課

●小学校管理事業（体育館改修工事）【新】 2600万円

老朽化した小学校体育館の屋根の長寿命化のため、塗装工事を行うほか、経年劣化した床の改修工事を行います。

財源 繰入金2600万円 ▼教育総務課

● 青少年相談事業 176万円

いじめや不登校、非行など、子どもや家庭が抱える悩みなどを相談できる体制・環境を整備します。

財源 市176万円 ▼生涯学習課

● スクールカウンセラー配置事業 299万円

いじめや不登校など、子どもや保護者が抱える悩みについてカウンセリングを行うため、教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置します。

財源 県100万円 市199万円 ▼学校教育課

● 特別支援児童生徒サポート事業 2825万円

小・中学校において、学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの児童・生徒に対し、学習・生活支援を行うため、支援員を配置します。

財源 市2825万円 ▼学校教育課

● 学校適応指導教室運営事業 378万円

学習や体験活動を通じて不登校児童生徒の学校復帰を支援する学校適応指導教室『せいら』（生涯学習センター内）と『せいら西』（旧ポリテクセンター内）を運営します。

財源 諸収入1万円 市377万円 ▼学校教育課

● 小・中学校遠距離児童生徒通学支援事業 2509万円

遠距離通学の児童・生徒の交通手段を確保するためのスクールバスなどの運行や、通学費に対する保護者の負担を軽減するため費用の一部を助成します。

財源 市2509万円 ▼学校教育課

● 小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 4099万円

経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者の負担を軽減するため、就学費を助成します。

財源 国29万円 市4070万円 ▼学校教育課

● 小・中学校各種大会出場等支援事業【新】 94万円

県予選を勝ち抜き全国・九州大会に出場した児童・生徒の旅費と宿泊費について、費用の一部を補助します。

財源 繰入金90万円 市4万円 ▼学校教育課

● 市民センター改修事業【新】 237万円

平成4年の施設建設から23年が経過し、空調設備に不具合が生じてきているため、空調設備の改修にかかる設計業務を委託します。

財源 繰入金200万円 市37万円 ▼市民センター

● ハーフマラソン大会開催事業 250万円

競技力の向上を図るとともに、全国のランナーに伊万里市に来てもらうことでスポーツ交流人口の増加を図るため、日本陸上競技連盟公認コースでのハーフマラソン大会を開催します。

財源 繰入金250万円 ▼体育保健課

● スポーツ合宿誘致事業 262万円

大学生や高校生などのスポーツ合宿を誘致し、合宿に要する費用の一部を助成します。

財源 繰入金260万円 市2万円 ▼体育保健課

● 体育施設耐震改修事業 1248万円

耐震診断により補強が必要と判定された国見台武道館の耐震補強工事を行います。

財源 市債1270万円 市△22万円 ▼体育保健課

● 学校給食センターPFI事業 1億6589万円

PFI手法により整備をした学校給食センターの建設経費などを、平成18年度から平成33年度までの16年間にわたり支払います。

財源 市1億6589万円 ▼体育保健課

● 史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業 310万円

平成25年度に策定した国史跡の大川内鍋島窯跡の整備計画に基づき、発掘調査を行います。

財源 国155万円 繰入金150万円 市5万円 ▼生涯学習課

● 大連市友好交流促進事業 325万円

友好交流都市・中国大連市との交流を発展させるため、各種事業（大連市修学旅行生誘致推進事業・アカシア祭りウオーキング大会派遣事業・観光セミナー開催事業）を実施します。

財源 繰入金320万円 市5万円 ▼国際戦略室



↑1月に大連市の鵬輝小学校から修学旅行生が二里小学校を訪れ、歌や踊りを披露したり、ゲームをしたりして交流しました。

活気あふれる産業づくり

中山間地域における水源かん養など多面的機能の維持・増進をはじめ、農道などの補修や景観形成など、農村環境の良好な保全のため地域が一体となって取り組む活動を支援します。また、イノシシやカラスなどの有害鳥獣による農作物の被害を軽減するため、有害鳥獣の駆除に要する費用などを支援します。

森林や林業の再生に必要な施設や高性能機械の導入をはじめ、森林の施業および保護に関する計画の作成などを支援します。

どっちゃん祭りやいまり秋祭りなど本市特有の歴史と文化を持つイベントの開催や本市の豊かな自然を生かしたグリーン・ツーリズムの取り組みを支援します。また、農業体験を盛り込んだ『畑の中のレストラン』を回数を増やして実施するなど、交流人口の拡大に努めます。

北部九州の国際物流拠点として着実に成長を続けている伊万里港について、佐賀県伊万里港振興会などの団体などと連携し、国内外の荷主や船社へのポートセールス活動に取り組むとともに、コンテナを輸出する荷主への助成制度による利用促進に努めます。



東京スカイツリーで伊万里の物産などをPR

●水田農業機械・施設等整備支援事業

828万円

水田農業の担い手の経営安定と、競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県637万円 市191万円

▼農業振興課

●有害鳥獣対策事業

1040万円

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策に要する費用の一部を補助します。

財源 市1040万円

▼農業振興課

●園芸農業機械・施設等整備支援事業

8401万円

収益性の高い園芸農業を確立を図るため、収量・品質の向上や省エネ・省力化などに取り組むために必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県6895万円 市1506万円

▼伊万里梨課

●園芸産地維持・拡大事業【新】

72万円

梨などの産地の維持・拡大を図るた

め、農地中間管理機構などからの農地借受、改植などの実施により未収益期間の栽培管理費の一部を補助します。

財源 市72万円

▼伊万里梨課

●農地・水保全管理支援事業

1億2510万円

農地や農業用施設などの資源と農村環境を将来にわたって良好な状態で保全するため、管理活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県9435万円 市3075万円

▼農山漁村整備課

●中山間地域農業集落活動支援事業

1億6006万円

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持向上を図るため、協定集落の活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県1億2065万円 市3941万円

▼農業振興課

●中山間地域農業基盤・環境整備促進事業

1230万円

中山間地域における農業基盤などの総合整備を行います。

財源 分担金200万円 市債300万円 市730万円

▼農山漁村整備課

●親元就農給付金支給事業【新】

150万円

本市における将来の農業の担い手を確保するため、青年就農給付金の対象とならない親元就農者に対し、給付金を支給します。

財源 市150万円 ▼農業振興課

●新規就農給付金支給事業

2862万円

経営が不安定な就農直後の所得の確保と、就農時における初期負担を軽減するため、必要な費用の一部を補助します。

財源 県2862万円 ▼農業振興課

●農業経営安定等支援事業

2923万円

経営所得安定対策を円滑に推進するため、市農協生産組合や水田台帳の作成などを行う市農業再生協議会に対し、活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県2762万円 市161万円 ▼農業振興課

●棚田地域保全活動支援事業【新】

60万円

都市住民が求める棚田の景観・保健休養の場などを提供しながら、地域住民と棚田地域を保全・利活用するための活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県40万円 繰入金20万円

▼農山漁村整備課

●森林を守る交付金事業 228万円

分散している小規模な森林を取りまとめて効率的な林業生産活動を推進するため、施業集約化や森林経営計画の策定に要する費用の一部を補助します。

財源 県171万円 市57万円

▼農山漁村整備課

●森林・林業再生基盤づくり交付金事業

1億8483万円

森林の整備・保全や林業・木材産業の健全な発展、木材利用の推進を図るため、森林や林業の再生基盤となる機械・施設の整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県1億8194万円 諸収入71万円 市218万円

▼農山漁村整備課

●まちなか活性化団体支援事業

800万円

伊万里まちなか一番館を拠点に、民間のまちなかづくり団体が中心となつて取り組む中心市街地活性化に向けた各種事業に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金800万円

▼企業誘致・商工振興課

●伊万里の“いい職”説明会開催事業【新】

64万円

伊万里・有田地区の高校生や福岡都市圏の学生などを対象に、市内企業のPRや就職情報などの提供を行うため、企業説明会を開催します。

財源 市64万円

▼企業誘致・商工振興課

●創業支援事業【新】 220万円

1月に策定した創業支援事業計画に基づき、創業支援事業者として位置付けた伊万里商工会議所が行う特定創業支援事業に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金200万円 市20万円

▼企業誘致・商工振興課

●畑の中のレストラン開催支援事業【新】 109万円

福岡都市圏からの観光客と地域住民の双方が楽しめる農業体験や生産者との交流を通じて、都市部からの誘客と伊万里産特産品の販売促進、市民の地産地消を図るための日帰りバスツアーの実施に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金100万円 市9万円

▼観光課

●伊万里ブランド販売促進事業

778万円

福岡都市圏および首都圏のホテルにおいて『伊万里の魅力』を実感できる伊万里フェアを開催します。また、福岡市内の大型百貨店などにおいて、伊万里焼風鈴の展示を行います。

財源 繰入金610万円 市168万円

▼観光課

●国際戦略推進事業【新】 638万円

外国人観光客の市への誘客を図り、地域経済の活性化につなげるため、各種事業（誘客拡大事業・消費拡大事業・多言語化事業）を実施します。

財源 繰入金630万円 市8万円

▼国際戦略室

●伊万里港ポートセールス推進事業 600万円

伊万里港七ツ島国際コンテナターミナルの取扱貨物の増加に向けて、佐賀県伊万里港振興会が実施する助成事業に要する費用の一部を負担します。

財源 繰入金600万円

▼伊万里湾総合開発・国道対策課



↑平成 25 年 4 月に供用開始したガントリークレーン

安全で快適な地域づくり

中心市街地の交通の円滑化を図るため都市計画道路大坪小学校線の整備をはじめ、市道の改良や老朽化した立花跨線橋の改修に向けた詳細設計、都市計画道路二里黒川線の照明灯の設置に取り組みます。

地域公共交通網形成計画に基づき、バス事業者やバスを運営する市民団体との連携により、既存バス路線の効率的な運行に努めるなど、持続可能な公共交通網の構築を進めます。

市内に点在し増加傾向にある空き家などの適切な管理を促進するため、空家実態調査や危険な空家の除却を含めた対策を講じます。

ごみの減量化と廃棄物の適正な処理を行うため、ビン類やペットボトルなど資源ごみの処理を行う環境センターの適切な運営に努めます。

円滑な消防団活動を支援するため、小型動力ポンプ付積載車の更新をはじめ、防火衣や水難救助用の救命胴衣などの消防団員の活動装備を充実させるなど、地域における消防力の向上を図ります。

地区防災委員の研修や情報伝達訓練を実施するとともに、『わがまち・わが家の防災マップ』を活用した住民避難訓練の実施に取り組みます。



夏季点検で市長などによる観閲を受ける消防団員

● **道路管理事業(単独)** 9712万円

核燃料税交付金を活用して、市内全域の市道の維持補修工事などを行います。

財源 県4140万円 市5572万円
▼道路河川課

● **道路管理事業** 1724万円

平成25年度に実施した道路防災・付属物点検の結果に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している道路付属物や法面を補修します。

財源 国935万円 市債760万円 市29万円
▼道路河川課

● **市道改良事業** 2028万円

道整備交付金を活用して、市道2路線の改良を行います。

財源 国1000万円 市債980万円 市48万円
▼道路河川課

● **交通安全施設整備事業** 8112万円

歩行者の安全を確保するため、社会資本整備総合交付金を活用して、歩道の新設や段差解消、拡幅などを行います。

財源 国4400万円 市債3590万円 市122万円
▼道路河川課

● **伊万里津景観形成事業【新】** 3324万円

平成9年度に『まつりを感じる河畔修景整備事業』で整備された伊万里川河畔壁について、経年劣化や一部剥離が進んでいるため、修景を整備します。

財源 繰入金3300万円 市24万円
▼都市政策課

● **都市計画道路整備事業(大坪小学校線)** 7605万円

社会資本整備総合交付金を活用して、都市計画道路大坪小学校線を整備します。

財源 国4125万円 市債3370万円 市110万円
▼道路河川課

● **都市計画道路整備促進事業(大坪木須線)** 3900万円

県営事業で実施される都市計画道路大坪木須線の整備に要する費用の一部を負担します。

財源 市債3510万円 市390万円
▼道路河川課

● **都市計画道路環境整備事業(二里黒川線)【新】** 1217万円

新たな通学路に指定されている新設の都市計画道路二里黒川線について、安全に利用できるよう、道路照明灯を設置します。

財源 国660万円 市債540万円 市17万円
▼道路河川課

● **橋りよう管理事業** 3031万円
 平成25年度に策定した伊万里市橋りよう長寿命化修繕計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化した橋りようを点検・補修します。
 財源 国1650万円 市債990万円 市391万円 ▼ **道路河川課**

● **煤屋川改修事業** 7630万円
 狭く蛇行している煤屋川が、台風や豪雨で頻繁に氾濫し、農地や家屋が浸水被害を受けるため、社会資本整備総合交付金を活用して改修します。
 財源 国2500万円 市債4910万円 市220万円 ▼ **道路河川課**

● **煤屋川改修関連市道改良事業** 600万円
 社会資本整備総合交付金を活用して改修する煤屋川の管理道路と兼用する市道煤屋3号線を拡幅します。
 財源 市600万円 ▼ **道路河川課**

● **有田川浄水場更新事業〔水道事業特別会計〕** 4億7284万円
 施設の老朽化や水源の水質変化などに伴い、安全・安心で良質な水道水を供給するため、高度浄水処理施設への更新工事を行います。
 財源 国1億2806万円 市債2億5000万円 出資金4904万円 市4574万円 ▼ **水道部工務課**

● **有田川取水導水施設更新事業〔水道事業特別会計〕** 3億8079万円
 施設の老朽化や耐震性に対応し、非常時における生活用水を確保するとともに、水道水を安定して供給するため、更新工事を行います。
 財源 県6529万円 市債2億7000万円 出資金3170万円 市1380万円 ▼ **水道部工務課**

● **農業集落排水事業〔農業集落排水事業特別会計〕** 1億3618万円
 農村環境の保全、向上を図るため、農業集落排水処理施設などを維持・管理します。
 財源 国950万円 繰入金5747万円 市債3950万円 市2971万円 ▼ **下水道課**

● **空き家等管理促進事業** 1724万円
 平成25年1月に施行した伊万里市空き家等の適正管理に関する条例に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、危険な空き家に対する除去や実態調査を実施します。
 財源 国835万円 市889万円 ▼ **土木管理課**

● **市営住宅改修事業** 5274万円
 社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化した市営住宅を改修します。
 財源 国2494万円 諸収入5万円 市債2750万円 市25万円 ▼ **都市政策課**

● **排水機場保全対策事業〔新〕** 658万円
 長浜六本松と木須新田排水機場の老朽化や機能低下に伴い、平成27年度に策定した機能保全計画に基づいて、5年間で保全対策工事を行います。
 財源 国353万円 県96万円 市209万円 ▼ **土木管理課**

● **ため池整備促進事業** 1755万円
 災害の未然防止や農地などの保全、農業生産の維持、農業経営の安定を図るため、老朽化しているため池を改修します。
 財源 分担金285万円 県450万円 市債510万円 市510万円 ▼ **農山漁村整備課**

● **浄化槽設置促進事業** 2623万円
 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、世帯が浄化槽を設置するための費用の一部を補助します。
 財源 国874万円 県874万円 市875万円 ▼ **下水道課**

● **浸水対策事業** 1億512万円
 満潮と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区に、雨水渠や排水機場などを整備します。
 財源 国5000万円 市債5040万円 市472万円 ▼ **下水道課**

● **資源ごみ回収促進事業** 258万円
 リサイクルやごみ減量化対策を推進するため、資源ごみの回収活動に要する費用の一部を補助します。
 財源 繰入金250万円 市8万円 ▼ **環境課**

● **一般廃棄物収集運搬事業** 1億7309万円
 ごみ（一般廃棄物）を分別するための指定ごみ袋などを製作するとともに、ごみを収集運搬します。
 財源 手数料8883万円 諸収入30万円 市8396万円 ▼ **環境課**



↑多くの人でにぎわう市役所公用車車庫で開催されるリサイクルバザー



↑1月から稼働している広域ごみ処理施設『さが西部クリーンセンター』（松浦町）

●環境センター管理運営事業

5851万円

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）のうち、ビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイのリサイクル処理を行うとともに、平成27年度をもって閉鎖した焼却施設と最終処分場を適正に管理します。

財源 諸収入 415万円 市 5436万円

▼環境課

●ごみ処理広域化推進事業

2億9472万円

佐賀県西部4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合に対し、さが西部クリーンセンターの運営に要する費用の一部を負担します。

財源 市2億9472万円

▼環境課

●広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業

1億3717万円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づき、組合からの依頼を受け、松浦町にスポーツ・レクリエーション施設を整備するための立木補償調査業務や用地購入などを行います。

財源 繰入金1億3717万円

▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合運営負担金

2億7479万円

伊万里・有田地区衛生組合のし尿などの処理や火葬場事業に要する費用の一部を負担します。

財源 市2億7479万円

▼環境課

●鉄道交通支援事業

1147万円

第三セクターの松浦鉄道株式会社の円滑な事業運営のため、松浦鉄道沿線の自治体で組織する松浦鉄道自治体連絡協議会が決定した施設整備事業計画に基づき、施設の整備・更新に要する費用の一部を補助します。

財源 市1147万円

▼まちづくり課

●コミュニティバス運行事業

1553万円

高齢者などの交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。

財源 市1553万円

▼まちづくり課

●バス交通支援事業

1293万円

地域が行う『東山代元気バス』・『波多津ふれあい号』の運行事業に要する費用の一部を補助します。

財源 市1293万円

▼まちづくり課

●伊万里・有田消防組合運営負担金

8億1472万円

伊万里・有田消防組合の運営に要する経費などの一部を負担します。

財源 市8億1472万円

▼消防調整課

●消防団車両管理事業

910万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプ付積載車の老朽化に伴い、順次更新を行います。

財源 市債880万円 市30万円

▼消防調整課

●防犯灯設置促進事業

120万円

各行政区の防犯灯設置に要する費用の一部を補助します。

財源 市120万円

▼総務課

●防災行政無線施設整備事業

7億4469万円

災害から市民の生命や財産を守るため、市民に対して一斉に災害情報を伝達することができる防災行政無線

を整備します。

財源 市債7億5930万円 市△1461万円

▼防災危機管理課

●急傾斜地整備事業

1370万円

急傾斜地崩壊危険区域で、斜面崩壊や落石の危険性が高く、家屋が崖地に隣接した地区の崩壊防止工事を行います。

財源 分担金342万円 県685万円 市343万円

▼道路河川課



↑雨期を前に、市長をはじめ地元住民や防災関係者が災害危険箇所などをパトロール

自立と協働のまちづくり

まちづくりの目標

広報紙やホームページなどによる的確で迅速な行政情報の提供に努めます。また、重要な施策などの決定においてはパブリックコメントを実施するなど、行政運営への市民参加の促進に努めます。

まちづくりの担い手を育成するため、各町で主体的に取り組みられているまちづくり活動を促進するとともに、市民活動団体などが自ら企画し実行する事業の支援に努めます。

男女協働参画に関する計画の改定に向け、関係団体などで構成する審議会を設置し市民意識調査などの基礎調査に取り組みます。また、いまさらと連携し男女協働参画意識の向上に向けた啓発活動を進めます。

効率的な行政の運営をめざし、第6次行政改革大綱に基づき、自主財源の確保や行政評価の活用、機構改革によるコストの縮減など、さらなる改革を推進し、将来にわたる健全な行政運営に努めます。

自立した行政経営を確立するため、全国一斉に地方創生の取り組みが開始され地域間競争の激化が進む中で、俯瞰的な視点と果敢なチャレンジ意欲などを備えた職員の育成に努めます。



地域を活性化しようと開催された地元手作りのイベント『波多津みなと祭り』

● ケーブルテレビ基盤整備支援事業

2210万円

【新】

災害情報の伝達と行政情報提供の環境整備のため、ケーブルテレビのエリア拡張に伴う共通基盤の整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県2210万円 ▼情報広報課

● 地域の元気推進事業

415万円

地域の課題に対応した、住民によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町（地区）公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』の活動に要する費用の一部を助成します。

財源 繰入金410万円 市5万円

▼まちづくり課

● 次代を創る研修事業

64万円

全国市町村国際文化研修所などが主催する人材育成を中心とした研修に市民と職員を派遣します。また、市民や団体向けの講演会を開催します。

財源 財産収入2万円 繰入金62万円

▼まちづくり課

● ふるさと応援寄附募集事業

6億907万円

ふるさと応援基金に一定額以上が寄付された場合に、市内の特産品を送付し、市をPRするとともに、特産

品の販売を促進し、産業振興と当該基金への寄付の増加を図ります。

財源 繰入金6億907万円

▼まちづくり課

● 市税等賦課徴収事業（口座振替推進ダブルキャンペーン事業）【新】

74万円

市税の収納率向上や収納事務の効率化を図るため、口座振替推進キャンペーンを実施します。

財源 市74万円

▼税務課

● 地籍調査事業

1億3194万円

公共財産を保全するとともに、土地に関する基礎資料とするため、黒川町・波多津町の一部について地籍調査を実施します。

財源 手数料18万円 県9000万円 諸収入60万円 市4116万円

▼地籍調査課

● 移住・定住促進事業【新】

30万円

本市への移住・定住を促進するため、定住奨励金の創設や地域おこし協力隊の活用などについての調査・研究を行います。

財源 市30万円

▼移住・定住・婚活応援課

● 議員公務活動支援事業

600万円

市議会議員の調査研究活動などに要する経費の一部を補助します。

財源 市600万円 ▼議会事務局



広報 **伊万里**

平成28年度 予算特集号

- 発行日／平成28年4月15日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社三光